

令和元年度地方独立行政法人東京都健康長寿医療センターの業務実績に係る
評価委員会の意見について（案）

令和元年度における地方独立行政法人東京都健康長寿医療センターの業務の実施状況は、「概ね着実な業務の進捗状況」であると認められる。評価の決定に際しては、次の点について留意されたい。

- ・ 病院部門では、高齢者の特性に配慮した「治し支える医療」の実現に向けて、重点医療を中心に、的確に取り組んでいる。今後は、都民が安心できる救急医療体制の確保のため、救急患者の積極的かつ迅速な受け入れに努めることが必要である。
- ・ 研究部門では、高齢者に特有な疾患と老年症候群を克服するための研究について、高齢者特有の疾患に対する治療法の開発につながる成果を上げるなど、第三期中期目標の達成に向けた取組が進められている。引き続き、病院と研究所を一体的に運営する法人の特長を生かし、研究を推進していくことを期待する。

また、平成 30 年度に立ち上げた研究支援組織の基盤を強化し、成果を迅速に出したことは評価できる。今後は、高齢者の健康長寿と生活の質の向上を目指す研究の更なる推進を期待するとともに、これまで積み重ねてきた研究成果の更なる普及・還元に向け、広報活動の強化に努めることが必要である。

- ・ 今後の評価に当たり、標準化された目標値等、客観的に評価するための指標について、更なる検討を進めるとともに、評価委員がより客観的な立場で意見を述べることができるよう、引き続き検討していくことが必要である。

また、第三期中期目標及び中期計画の達成に向けては、法人が次の取組を推進することを期待する。

- ・ これまで収入の確保に向け経営努力を重ねてきたが、特に病院部門において、更なる収入の確保に向けて取組を強化するとともに、経営分析を活用した業務の効率化やコスト管理を徹底して行い、更なる収支改善に取り組んでほしい。

また、収支改善に向けては、上記の取組に加え、職員の意識向上を図るとともに、専門人材の確保に努め、組織全体で経営基盤の更なる強化に取り組んでほしい。